

成虫を採集した近くのイヌビワの葉で6卵を発見した。1 mにも満たないイヌビワの、ほころびかけた新葉に、1卵ずつ、6ヶ所に産付されていた。イヌビワは近くにも数本見られたが、これらの葉は成葉であったためか卵は見られなかった。

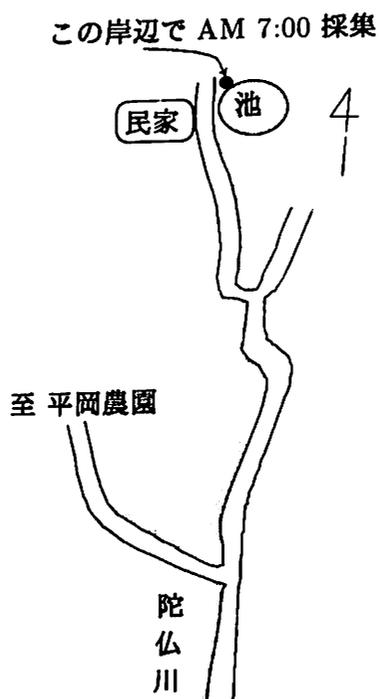
5日後にすべての卵が孵化した。初めは2匹を室内で、4匹は袋がけをせずに、発見した場所で自然状態で観察しようと思っていたが、場所が道沿いのため草刈をされる恐れがでてきた。やむなくすべてを飼育箱に移した。

幼虫期間の平均は12.6日であった。この数字は他の蝶のそれと比べると、かなり短い。どんどんと齢が進んで終齢の5齢を迎えた。2齢直前までは6匹全部健在であったが、羽化まで行けたのは4匹であった。蛹期はそれぞれ6日(♂)、6日(♂)、6日(♂)、7日(♀)であった。

(たにがわ だいかい)

## コムラサキを採集 交告尚史<sup>4</sup>

1994年8月17日。洲本市宇山でコムラサキ♂を一頭採集したので報告しておきたい。翅はかなり損傷している。



(こうけつ ひさし)

4: 〒225 横浜市緑区黒須田32-12 あざみ野405